

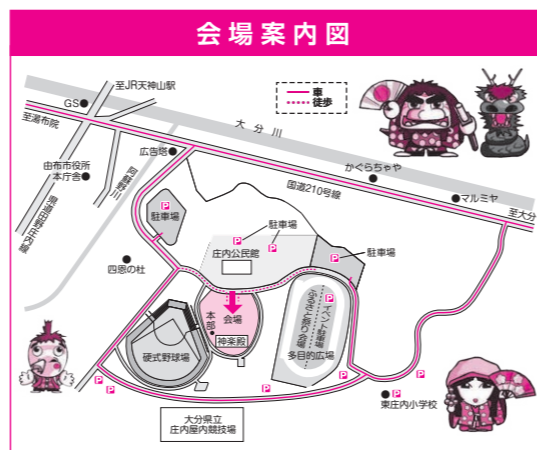
# 庄内神楽祭り



先人より脈々と受け継がれた神々の舞  
大分県庄内神楽

とどけたい、あなたの心へ

- とき **11月3日(日) 文化の日** 午前8時30分～
- ところ **庄内総合運動公園(神楽殿)** ※雨天の場合 大分県立庄内屋内競技場  
※ペット同伴禁止
- 入場料 **500円**(高校生以上) 当日券のみ ※チケット販売 午前7時～  
※チケット売場にて入場券を購入後、入場してください。
- 主催 庄内神楽祭り実行委員会
- 後援 大分県農業協同組合 庄内支店  
おおいた森林組合・由布市商工会  
庄内町観光協会・大分合同新聞社  
NHK大分放送局・OBS大分放送  
TOSテレビ大分・OAB大分朝日放送  
エフエム大分・J:COM大分ケーブルテレコム  
ゆふいんラヂオ局



お問い合わせ  
由布市庄内振興局 地域振興課  
☎097-582-1113

11/3日  
文化の日

	8:30～ 8:40	神楽ばやし	神楽ばやし愛好会
1	8:45～ 9:15	五方礼始	竹の中神楽座
2	9:20～10:00	五穀舞	阿蘇野神楽座
3	10:05～10:35	貴見城	庄内子供神楽座
4	10:40～10:55	鹿児弓	ありのみ保育園
5	11:00～11:15	大蛇退治	あなみ保育園
6	11:20～11:35	貴見城	ひばりこども園
7	11:40～12:10	二草	櫛木神楽座
主催者挨拶			
8	12:25～13:10	戸開	雲取神楽座
9	13:15～13:45	平国	中臣神楽座
10	13:50～14:35	日割	庄内原神楽座
11	14:40～15:25	神逐	由布高等学校 郷土芸能部
12	15:30～16:15	国司	小野屋神楽座
13	16:20～17:10	大蛇退治	平石神楽座
	17:15		閉会

※時間は予定です。順番、演目等の変更がある場合があります。

同時開催

## 第41回 由布市庄内町ふるさと祭り

- とき **11月3日(日) 文化の日**
- ところ **庄内総合運動公園(多目的広場)** (入場無料)
- 主催 由布市庄内町ふるさと祭り実行委員会
- 共催 由布市、大分県農業協同組合 庄内支店
- 後援 庄内町観光協会、由布市商工会
- 催し 特産品の展示販売、ステージイベント、ふるさとの味コーナー、こども広場



# 出演団体 紹介

## 神楽ばやし愛好会



昭和50年、庄内神楽のお囃子に振り付けをして踊られるようになりました。神楽イベントのアトラクションや小中学校の運動会で踊られています。

県内では平成13年県民芸術文化祭開幕行事やコンパル広域文化交流会に参加しました。

## たけなか 竹の中神楽座



約120年の伝統を引き継ぎ、日々練習を重ねて舞続けています。今年も年越しでの初舞を杵築市の奈多八幡宮から始め、県下各地の神社の大祭や、地域の祭り・敬老会、施設訪問も行い、大変喜ばれております。

【演目】五方礼始(ごほうれいし)  
神楽を舞うにあたって、五方(東・西・中央・南・北)を清める舞です。

## あそこの 阿蘇野神楽座



明治初期(5年頃)朝地町深山神楽の望月弾正氏に伝授、又は手直しを受けたといわれています。座員は、阿蘇野神社の氏子で構成されています。平成10年庄内町で開催された国民文化祭神楽フェスティバルに出演しました。

【演目】五穀舞(ごこくまい)  
月読命が保食神を斬り殺し、保食神の体から、稲、粟、麦、豆、稗などの五穀や、牛・馬・蚕などが生まれ、それを高天原に持ち帰り、天の田畑に種を蒔いたという神話の舞です。

## しょうない 庄内子供神楽座



青少年の健全育成と非行防止、庄内神楽の後継者育成を目的として、昭和51年3月に結成され、各神社での祭典や地域のイベント等、県内外を問わず年間約60回程度の公演を行っております。これまでの活動が認められ、平成30年に大分県教育奨励賞、大分県青少年育成県民会議会長表彰を受賞することができました。地域の伝統芸能を継承し、発展させていく庄内子供神楽にご声援をよろしくお願い致します。

【演目】貴見城(きけんじょう)  
火關降命と彦火火出見命という兄弟神が、釣竿と弓矢を交換するという舞です。

## ありのみ保育園



今年も4歳児8名、5歳児4名の計12名で鹿兒弓を舞います。年長児4名を中心にみんなで大きなかけ声を出しながら日々練習に励んでいます。本日は緊張しながらも元気に舞う姿をご覧ください。

【演目】鹿兒弓(かごゆみ)  
八百萬の神々が鹿狩りに使う天鹿兒弓と天羽羽矢を持って岩戸開きを祝う舞です。

## あなみ保育園



今年も7名の子どもたちで大蛇退治を披露します。昨年の年長児より引き継いだあなみ保育園伝統の大蛇退治、覚えることもたくさんありましたが、皆で練習に取り組みしました。今日は、憧れの舞台上で一生懸命頑張ります。

【演目】大蛇退治(おろちたいじ)  
高天原を神逐(追放)された素戔嗚尊が、出雲の国鏡の川の上流で八岐の大蛇を退治して、櫛稲田姫を助けるという舞です。

## ひばりこども園



保育活動の一環として男女問わず郷土芸能を継承してきて、今では神楽がすっかり定着してきました。小さい頃から聞き慣れた神楽のリズム。大勢の皆さんの前で神楽を舞うことを楽しみに取り組んできました。地域の伝統文化を継承することによって、祖先の残した文化に、興味や関心を持ち、郷土の良さを知り、自分が生まれ育った町に誇りを持ってほしいと願っています。今日は、子どもたちの力強い、勇壮な伝統の舞をご覧ください。

【演目】貴見城(きけんじょう)  
火關降命と彦火火出見命という兄弟神が、釣竿と弓矢を交換するという舞です。

## いちぎ 櫛木神楽座



昭和52年庄内神楽の祖、高津神楽の佐藤仁氏より伝授、櫛木地区の若者で結成。大分市春日神社の春夏秋冬の大祭を始め、各神社の奉納等で積極的に活動しています。

【演目】二草(ふたくさ)  
八百萬の神々が、真弓・美剣を持ち、中津国の邪神を平定する舞です。

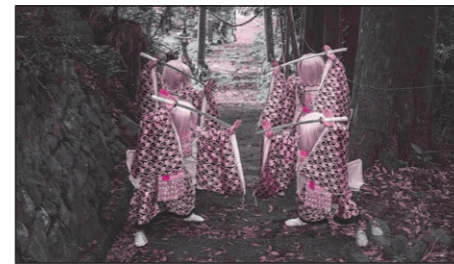
## くもとり 雲取神楽座



昭和2年に昭和天皇即位を記念して発足。庄内神楽の継承に努めるとともに、地域の青少年の舞指導などを行いながら、健全育成にも力を入れ、ご覧の方々に感動が伝わる舞を意識しながら日々精進しています。

【演目】戸開(とびらき)  
天照大神が天岩屋に隠れたことから思兼神が謀り、天鈿女命が岩戸の前で舞い、手力雄命が天岩戸を開けて天照大神をお迎えするという舞です。

## なかとみ 中臣神楽座



明治初期(6年頃)初代楽長の大島恵三郎氏らが朝地町深山八幡社に伝わる神楽を習得したといわれています。平成14年・16年の大分県神楽大会、15年9月東京公演に出演しています。

【演目】平国(へいこく)  
伊邪那岐尊が御子である火の神、加具都智神をお斬りになった時、大刀先より血が石の上にほとぼしり流れ、岩裂神・根裂神・岩筒男神・経津主神がお生まれになり、各神の荒魂を鎮める形の舞です。

## しょうないばる 庄内原神楽座



昭和天皇御大典を記念し、昭和2年小原神楽座として発足、昭和51年庄内原神楽保存会となりました。大分県神楽大会をはじめ、平成10年庄内町で開催された国民文化祭神楽フェスティバル、平成12年鹿児島県の南九州神楽大会にも出演し、平成22年にはユネスコ世界無形文化遺産に登録されている韓国最大のお祭り「江陵端午祭」にも出演しています。

【演目】日割(ひわり)  
1年を360日、東を木の神、南を火の神、西を金の神、北を水の神、中央を土の神の五柱の神、即ち春は木の神、夏は火の神、秋は金の神、冬は水の神に分け最後に各季から18日を分ち72日を土用として土の神に分ち与え、四季を五等分に日割りする暦作りの舞です。

## ゆふ 由布高等学校郷土芸能部



大分県立由布高等学校郷土芸能部は、昭和51年に創部され、福祉施設の慰問や地域のイベント等で庄内神楽を披露しています。地域の皆様の温かいご支援により、これまで全国第一位を一度、第二位を二度受賞してきました。今後も庄内神楽の素晴らしさを披露し、地域の伝統を継承できるよう、一生懸命稽古を続けてまいります。

【演目】神逐(かみやらい)  
天照大神が、弟神である素戔嗚尊の悪行に腹を立てて、天の岩戸にお隠れになり、世の中が暗闇になったので、八百萬の神々が集まり相談して、天の岩戸開きを行って天照大神を連れ出すと共に、悪行の悪い素戔嗚尊を高天原から根の国に追放するという神話の舞です。

## おのや 小野屋神楽座



昭和43年庄内神楽の祖、高津神楽の長尾東氏の勧めにより結成。町内外を問わず広く後継者を募集しています。演目「日割」や大蛇4頭による「大蛇退治」は好評を博しています。

【演目】国司(くにつかさ)  
高皇産靈尊が、中津国平定のため、経津主神と武甕槌神を派遣する。大國主命は御子事代主命と相談し、国譲りを決めるという舞です。

## ひらいし 平石神楽座



昭和50年庄内神楽の祖、高津神楽の長尾東氏より伝授、平石地区の後継者で結成されました。若い力の加入もあり練習に取り組んでいます。各水で知られる地元の諏訪神社での奉納や岩手県みちのく神楽大会に出演しています。

【演目】大蛇退治(おろちたいじ)  
高天原を神逐(追放)された素戔嗚尊が、出雲の国鏡の川の上流で八岐の大蛇を退治して、櫛稲田姫を助けるという舞です。

